



# 旧広島陸軍被服支廠の活用の方向性に係る ワークショップと懇談会の集い

2022年11月12日（土）

## 【会長】

岡田 昌彰（近畿大学教授） 景観工学、産業遺産

## 【コア委員】

安部 良（安部良アトリエ一級建築士事務所 主宰） 建築

佐渡 紀子（広島修道大学教授） 国際政治・平和学

田中 尚人（熊本大学准教授） 公共空間マネジメント

積山 ミサ（PRESENTsHIROSHIMA 顧問） 文化・芸術

平尾 順平（ひろしまジン大学代表理事） 地域・まちづくり

前野 やよい（広島市郷土資料館主幹学芸員） 郷土史

光井 渉（東京藝術大学教授） 日本建築史

# 本日の予定

---

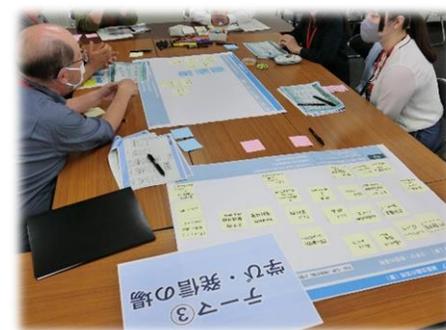
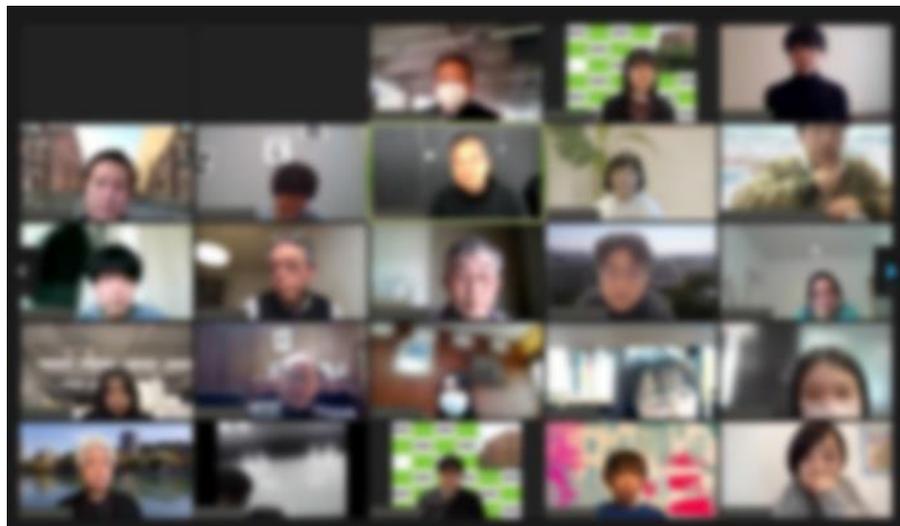
ワークショップでやってきたこと

---

# ワークショップの実施概要

## ●ワークショップの目的

これまで全4回実施し、事前公募により様々な世代の方々にご参加いただきました。ワークショップでは、被服支廠の活用に向けて、何を大事に考えていきたい？、どんな活用のアイデアがある？といったアイデアから、実践に向けた体制のご意見など広く集めました。



# ワークショップの実施概要

## ●ワークショップのスケジュール

### 第1回

- ・ 検討スタート！まずは話してみましよう
- ・ 被服支廠のことを知りましよう
- ・ 被服支廠について、参加者の今の考えを集めてみましよう

2022/1/30実施  
参加者：45名

### 第2回

- ・ 各種団体など、いろいろな人の話を聞いてみましよう
- ・ 活用にあたって大事にすべき視点（大きな方針）などを話し合ってみましよう

2022/3/13実施  
参加者：38名

### 第3回

- ・ 活用方策のアイデアを、いろいろな視点から出してみましよう

2022/6/11実施  
参加者：30名

### 第4回

- ・ 活用の実践に向けた体制などについて、考えてみましよう（案）

2022/8/27実施  
参加者：26名

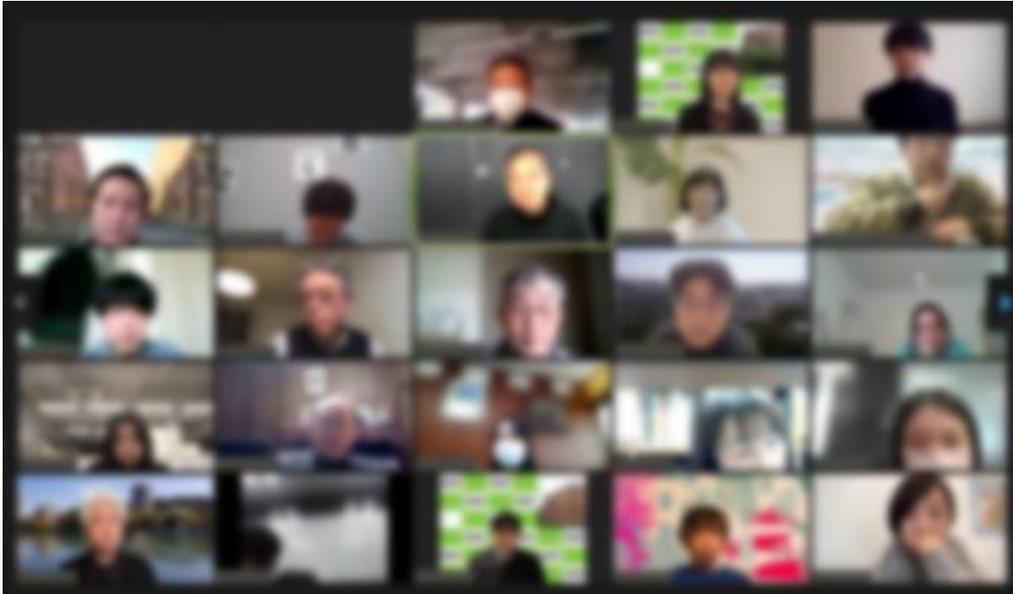
### 第5回

- ・ 懇談会のメンバーとの意見交換など、ワークショップの結果を振り返り、広く発信していきましよう

本日

# 第1回ワークショップ

Zoomによるワークショップにチャレンジしました！



アーキワーク広島 代表 高田さんにご講演いただきました！

1. 被服支廠とは？  
～その歴史経緯～



# 被服支廠に対する想い・アイデアを語りました！

## 第1回ワークショップ A班

※会議に出ていない方にも読みやすいよう、一部、表現の修正や内容の補足をしています。

### 〈イメージ〉

明るい未来が想像  
できるような場所



ワクワクする気持ち  
が起ころ場所

人が集まって交流  
できるような場所



未来の平和を  
創る場所

### 〈大事にしたいこと〉

- 被爆，戦争などの**暗いイメージではなく**
- 資料等の閲覧のみでなく，**行きたいと思える場所へ**
- **復興の象徴として緑化**  
(緑とレンガの対比)
- 広島はお酒のイメージがあり，**ピース(平和)とお酒の融合**もおもしろそう
- **アートの活用**もできると面白い
- 将来，**被服支廠内で働きたい**
- **建物自体の歴史的価値を活かす** 
- **毎月のように行ける場所へ**
- 広島に暮らす市民と融合して**交わる場所**
- **施設そのものを感じられる**何もない空間
- **手を加えずそのままの形で**人が集まり交流できる
- **被爆者の声，追悼**の空間。被爆時の詩を朗読できる場所
- 事実を忘れないために，**戦争や平和について考えることができる**空間

### 〈活用のアイデア〉

- 「ピースウォーク」の一環として原爆ドームを回り被服支廠へ宿泊。  
～平和に絡めた**体験型宿泊施設**～
- 被爆者の方の資料を保存・活用する**文書館**  
～**平和に特化したアーカイブ**～
- アートを作って発信できる空間  
～**芸術発信拠点**～
- 様々な**展示会・建築に特化した企画展**が実施できる空間・会場  
～**多目的展示場**～
- 他都市の事例も踏まえた**商業施設，集客施設**  
～**複合型商業施設**～
- 近代史や戦後復興の記録を扱う空間  
～**都市博物館**～
- 市民の**交流施設** (音楽・美術・研究機関等)  
～**複合施設**～
- 市民参加型による周辺緑化等の整備

様々な活用アイデアが  
寄せられました



〈 類型 〉

〈 アイデアのもとにある考え 〉

〈 アイデア 〉

知ってもらう  
・  
アクセス  
しやすくする

・被服支廠を知らない人が多い  
・周知・誘導が大事

➤ 駅や観光スポットでの**掲示案内**  
➤ **ループバス**や**雁木タクシー**で周る  
➤ **G7の会場**にする  
➤ 活用案を考える**コンクール**を毎年開催する

子どもたちが  
学ぶ・考える

・子ども（小中学生）が**学ぶきっかけ**になるような施設に

➤ 県内の小中学校でアンケートをとり認知度を  
確認⇒**被服支廠で何をしたいか**を聞く  
➤ 子どもの**図書館**、**資料館**  
➤ この空間で学ぶ（**校舎**として使う）体験

広さを活かす

・4棟とも残って欲しい  
・**住宅地**の中にある

➤ **地ビール**、**クラフトビール**施設  
➤ **サウナ**、**スパ**施設

文化・平和・交流  
の拠点

・**芸術**や**広島**の**文化**に触れられる施設に  
・**役に立つ**+**収益**がある  
・**平和**について学べる場所に  
・広島に**ユースホステル**がなくなった

➤ **音楽**や**アート**、**お酒**や**神楽**を楽しむ場所  
➤ 広島県の文化振興拠点（**オフィス**、**アトリエ**等）  
➤ 「**国際平和拠点ひろしま**」推進の拠点  
➤ **原爆**関係の**文学館**  
➤ 常設の**ビデオシアター**  
➤ **ユースホステル**

地元の人が  
使う・管理する

・広島には**世界遺産**がすでに**2つ**⇒その観光で一日かかる  
・地元の人が**花壇**を整備していた  
・皆実町中通り**商店街**のお店が少なくなっている⇒活性化につなげたい

➤ 観光客ではなく、**地元の人**が使いやすい施設にする  
➤ **管理運営**に地元の人に関われるしくみづくり  
➤ **商店街**で何かやれたらいい

持続可能な  
活用法の検討

・活用法は**平和関連**に偏らなくてもいいのかなという印象  
・使う人に**自分たち**で考えてもらう（決め打ちではなく）  
・活用のための改修等についての**コンセンサス**が必要



## 〈 活用の考え方 〉

芸術・文化の  
発信の場

- **新しい工芸の発信拠点**
- 夏以外の観光客が少ない時期の**観光の目玉**となる場所
- **地域経済の活性化に寄与するサービス**があったら良い



- **広島在住の職人と学生が交流**できる工房
- 音楽や実演アートなどの**イベント**や吹奏楽などの**発表会開催**

過去と未来を  
繋ぐ

- 原爆という過去のイメージだけでなく、**現在の広島のまちの姿**を伝えていく場所
- 被爆や戦災復興についての**発信点**
- 被爆団体などの**関係団体の思いを尊重**する
- 平和=原爆に捉われない「**平和**」を**発信し**、**世界の子どもたち**が平和について学ぶことができる場所
- 10年、20年先も**持続可能な施設**
- みんなが**笑顔になれる場所**



- **お酒と音楽**を有料で楽しめる場所 
- 年1回、オリジナルの平和の音楽を一般公募して演奏(毎年音楽が増えていく)
- 音楽にこだわったドキュメント写真の**展示場**
- 被爆や戦災復興について**デジタルアーカイブ**で発信する

立地や建物の  
個性を生かす

- 2023年のG7広島誘致も視野に入れた、**世界中のたくさんの人々が訪れる場所**
- 広島市内全体の**まちづくりビジョン**を反映する
- 周辺施設(広島大学の医学部、県内の放射線研究施設)やプロジェクト(広島駅前開発など)との**面的な連携**
- **見た目のインパクト**を利用するなど、他の施設との**差別化**が必要



- 被爆者の思いに寄り添うための**原爆のイベント**とともに、**マルシェ**などのイベントも定期的に開催
- **IT関連の研究施設** (島根県で廃校をデータセンターとして活用した事例あり)
- **メディアセンター・多目的ホール**

スモールスタートで、住民の意見を取り入れながら少しずつ作り上げていく施設

手段からではなく、被服支廠の**認知度を上げる**ための**ターゲットや方向性**を考えたいし、意見を聞きたい



〈キーワード〉

〈大切にしたい思い・考え方〉

〈活用のアイデア〉

子ども,次世代  
につなぐ

- 子どもに身近に感じてもらう
- 若い人に来てもらうことで建物を維持
- 子どもたちがまちを作る

持続可能な施設とするため  
にはお金+愛着が重要

- 子どもの職業体験,修学旅行で原爆+体験があるといい
- KIITO (デザイン・クリエイティブセンター神戸)のような子どもたちがまちを作るという動きを被服支廠でしたい
- 子ども 図書館・学校への出前授業



愛される場,  
祈り・  
憩いの場

- 後世に悲惨な出来事を含めて情報発信
- 被服支廠のポテンシャルを活かし昔の歴史に光をあてる (都市の記憶)
- 静かで,祈りに通じる憩いの場
- 外部の人が来る場所は地域の人も来やすい場所になる

- 静かな時を過ごす場 (保存しながらカフェやホテル (タスマニアなど海外事例あり))
- 中央図書館, 広島駅前ではなくここに持ってきたら?
- 開架式の蔵書館



アート作品から  
平和の祈りを  
発信

- 国際アニメーションフェス(現在は別の文化活動)のような活動の継続
- 音楽,映像,視覚的アート作品から平和を発信
- アート活動をすることで平和のメッセージが自然と出てくる
- インスピレーションが高まる非日常的空間

- 想像力を高めるような滞在型アートセンター
- アーティストの創作活動, ワークショップ, ワーキングスペース
- アニメーションデジタルの体験, 作品が見られる施設
- デジタルラボ・広島デジタル倉庫 (モノづくりができる場所,子どもも大人も集うことができるもの, 平和作品もデジタルアーカイブする)

NFTで販売し  
施設の維持費を出す



都市型  
複合施設で  
人を集める

- 平和だけでなく,貧困,海洋汚染など世界中の問題を発信できる場所
- 戦前の歴史から戦後の復興まで若い人にどうすれば平和を保てるかを知ってもらう場所
- 複合することで人を集める

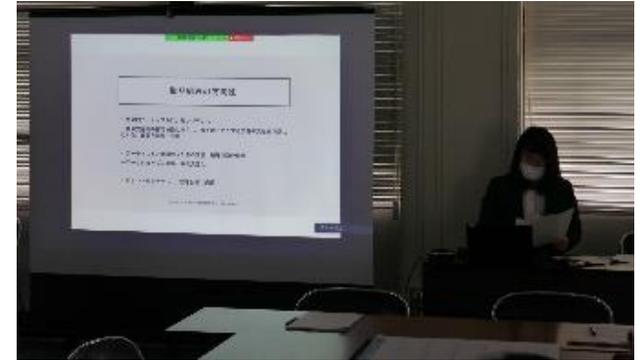
- 都市型合宿研修所 (大学・社会人・修学旅行)
- 第2の資料館 (軍都広島→被爆→復興→平和)
- 平和のアーティストが多いので美術館,映像文化ギャラリー, 図書館などを複合
- 広島市内の慰霊碑巡りの情報提供, 周遊バスを設ける, 駐車場の設置

周辺を巻き込んで  
共同で人を集める

産業会館, 比治山にも  
利用者用の駐車場を作る

# 第2回ワークショップ

## オンラインとリアルの併用（ハイブリッド）ワークショップ！



PRESENTsHIROSHIMA 顧問 積山さん、  
旧被服支廠の保全を願う懇談会 多賀さん  
株式会社JizoHat ポールさん  
に意見発表してもらいました。

# 「大切にしたい考え方」を話し合いました！

〈重視するキーワード〉

(第1回ワークショップのまとめを踏まえて、重視するキーワードを抽出)



〈大切にしたい考え方〉

(第2回ワークショップで各班5つ程度にまとめた考え方)

## A班

- ・こども、次世代につなぐ・残すべき場所
- ・未来の平和を創る場・平和の拠点
- ・モノづくりの場（被服支廠）であった歴史性

- ・未来を担う子どもや若者が“笑顔”になれる
- ・広島の人と世界がつながる場所  
(私たちはウクライナのために何ができるのか?)
- ・復興の歴史を発信する(平和資料館との差別化)
- ・平和の祈りや広島のものづくりを体験・行動できる
- ・100年後も建物を維持、持続的に運営できるよう必要な収益をあげる

## B班

- ・世界の子どもたちが平和について学ぶ・考えることができる場所にしたい
- ・戦争や原爆に思いを寄せながらも未来につながる空間、明るい未来が想像できるような場所にしたい
- ・10年、20年先も持続可能な施設

- ・地方の人、観光客(人と人)をつなぐ場所
- ・世代をこえて話す 体験する 共有する
- ・平和・文化・歴史・アート・音楽の発信拠点

## C班

- ・戦争や原爆に思いを寄せながらも未来につながる空間、明るい未来が想像できるような場所にしたい
- ・もっとたくさんの人に被服支廠について知ってほしい、被服支廠をこの町の誇りにしたい
- ・学校のつながりの拠点として機能
- ・広島における創作活動の始まりの場、芸術・文化の発信の場としたい
- ・アート作品から平和の祈りを発信したい
- ・10年、20年先も持続可能な施設
- ・ワクワクする気持ちが起こる場所、若い人々に夢を与えるような施設にしたい

- ・次世代に伝える平和学習の場
- ・国内外に向けて建物と建物が持つストーリーを知ってもらう
- ・近隣地域の方に愛着を持って関わってもらう
- ・建物ごとのターゲットを変え持続可能(収益性)な活用
- ・差別化等から収益を持続可能にするために得る。
- ・点でなく、面で考える

## 凡例

次代継承する、未来につながる  
(原爆の歴史・平和を認識しつつ)

つなぐ(人と人、世界へ)

価値の理解・認知度向上(発信)、  
誇り・愛着としての存在

地域のものとしての  
存在

創造・体験の場(文化・歴史・  
アート・音楽・モノづくり)

持続性・収益性等: 持続的な運営(人が来る、必要な  
収益をあげる) / 考えながら作り上げる

概念・俯瞰的: 点でなく面で捉える・棟ご  
とに違った機能 / ワクワク感

※事務局で類型整理

〈重視するキーワード〉

(第1回ワークショップのまとめを踏まえて、重視するキーワードを抽出)

D班

- ・この建物や土地の持つ歴史や背景などを尊重しつつも、現在の周辺環境を考慮した活用が大事
- ・もっとたくさんの人に被服支廠について知ってほしい、被服支廠をこの町の誇りにしたい
- ・広島における創作活動の始まりの場、芸術・文化の発信の場としたい
- ・使う人に自分たちで考えてもらう、使いながらずっと受け継いでいくスタンスが重要

E班

- ・戦争や原爆に思いを寄せながらも未来につながる空間、明るい未来が想像できるような場所にしたい
- ・この建物や土地の持つ歴史や背景などを尊重しつつも、現在の周辺環境を考慮した活用が大事
- ・市民に愛される場、祈り・憩いの場
- ・戦前の歴史から戦後の復興までを知ってもらう
- ・「国際平和拠点ひろしま」推進の拠点
- ・もっとたくさんの人に被服支廠について知ってほしい、被服支廠をこの町の誇りにしたい
- ・住民の意見を取り入れながら少しずつ作り上げていくスタンスが重要
- ・10年、20年先も持続可能な施設

F班

- ・戦争や原爆に思いを寄せながらも未来につながる空間、明るい未来が想像できるような場所にしたい
- ・建物自体の重厚感や貴重な歴史的建造物として内部・外観の魅力や趣きを活かす
- ・戦前の歴史から戦後の復興までを知ってもらう
- ・地域内で大切にされる場であると共に地域を超えて歴史を共有できる場
- ・使う人に自分たちで考えてもらう、使いながらずっと受け継いでいくスタンスが重要
- ・10年、20年先も持続可能な施設

〈大切にしたい考え方〉

(第2回ワークショップで各班5つ程度にまとめた考え方)

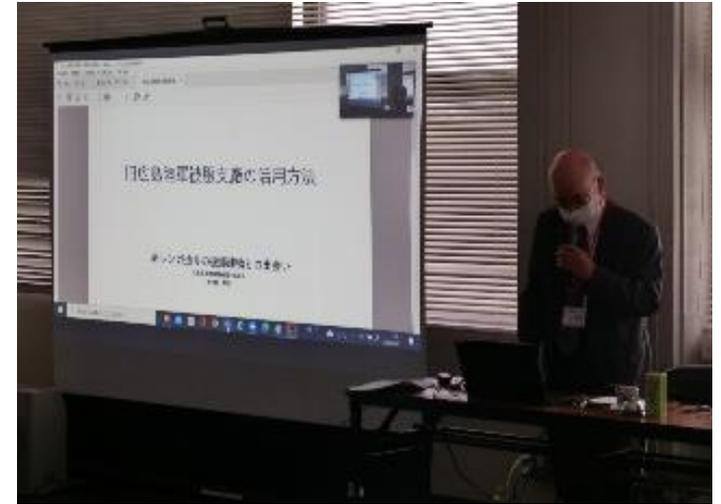
- ・広島における文化を発信する場所にする
- ・被服支廠についてもっと知ってもらう
- ・建物自体の価値について理解する
- ・人が来たくなるような場所にする
- ・使い方を決めず、使い手に考えてもらう

- ・世界の子どもたちが平和について学ぶ・考えることができる場所にしたい
  - ・次の世代がいかに興味を持ち、引き継いでいけるか
  - ・活用の仕組みを現時点で作りすぎず、10年後、20年後の人たちのための活用となるように
  - ・戦争の記憶を発信できる人が減ってしまう中で、重要な存在。内装をあまり変えない利活用
- ・「国際平和拠点ひろしま」推進の拠点
  - ・平和に関する研究拠点
  - ・コンセプトには鎮魂と平和への強い誓いを発信する場
- ・地域と共にあるイメージ、身近な市民活動の場に
  - ・地域の人が残してよかったと感じる活用法に
- ・棟ごとに様々な活用

- ・「保存」を重視した場合に、大きさ・広さを重視した利活用を
- ・「公開」を重視した場合に、被爆者の体験・経験を踏まえた空間、軍都広島の視点（日本全体も含めて）、当時のことが分かる資料館にしたい
- ・「創造」を重視した場合に、保存（第1世代）から参加（第3世代）までの全体を含めて検討する必要がある
- ・「参加」を重視した場合に、被爆者の方の体験を踏まえて、飲食機能の導入などには配慮が必要であり、消費行動を伴う機能については、十分な調査・検討を行わないといけない

# 第3回ワークショップ

広島県原爆被害者団体協議会 理事長 佐久間 邦彦さんに意見発表してもらいました。



これまでの意見を基に、被服支廠の「活用のアイデア」を話し合いました！



## 県民が集う場

～日常的に憩い、集える空間として使うことができる～

- 近隣の住民が交流し自発的に使用できる、スモールオフィスやサテライトオフィス
- コミュニティ・交流の場として、地域住民や中高生が頻繁に利用できるカフェ
- 世代を超えて日常的に利用出来る、子ども向けの学童保育や児童館、高齢者向けのデイサービス施設等の複合施設
- 県民や市民が行きたくくなるような、職業体験や牡蠣づくり・もみじ饅頭づくり体験施設
- 開架式で平和に関する本を自由に読むことができ、子どもの頃から足を運ぶことが出来る平和の拠点としての図書館

## 創造の場

～多様な価値観で創作・表現活動ができる～

- 世界中のアーティストや子どもが気軽に集まる開かれた場所として、音楽や演劇などのイベントを開催するホールや公園
- 被服支廠自体が建築的な価値があることから着想した、建築系の学生が集えるサテライトキャンパス、建築に関連したギャラリー
- 地元アーティストが頻繁に通ったり、アーティスト・イン・レジデンス活動を行う、アトリエやギャラリー等の文化発信施設
- 県民が劇団四季を鑑賞したり、劇団の稽古場や高校生の文化祭として使用できる劇場

## その他

- レンタサイクルとセットにしたピースツーリズムや、周辺の戦跡と連携してダークツーリズムを企画する
- 商店街を中心とした地域住民のニーズ把握や連携を行い、周辺との繋がりを生む仕掛けを創出する
- 観光バス用の車線整備や交通アクセスの強化、駐車場の整備等を実施する
- まずはそのままの空間で出来ることから(実証実験レベルから)、スモールスタートで始める

## 学び・発信の場

～平和・広島（被服支廠）の歴史を学び、継承し、世界に伝えることができる～

- 平和の発信拠点として原爆や戦争に関する資料を展示した平和資料館や映像ギャラリー
- 原爆に関する文学・映画・絵本等の作品が展示されている文学館
- アートに親和性のある被服支廠の歴史・建築構造を活かした、貸しギャラリー等のアート・デザインの発信施設
- 県内学生が利用できるITラボや高校生のコンペ・パフォーマンスの場といった、未来に向けて新しい価値を生み出す学習・研究施設

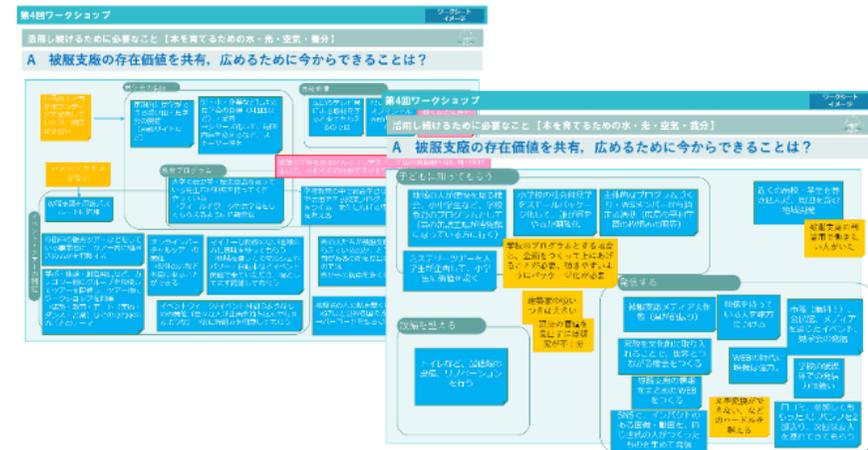
## おもてなしの場

～広島を訪れた人をもてなすことができる～

- 国内外の観光客と市民が交流できる合宿所・ユースホステル等の宿泊施設
- 国際平和をテーマとした会議で使用する、被服支廠の広い空間を活かした会議室
- 来訪者へのおもてなし、子どもの思い出作りや体験が出来る、広島ならではのものづくり体験施設
- 平和学習や被爆建物に興味のない人でも気軽に立ち寄れるような、宇品や島の特産品といったここでしか買えないものがあるマルシェやキッチンカーの出店

# 第4回ワークショップ

- ①被服支廠を“活用し続けるために必要なこと”を話し合いました！
- ②被服支廠の“活用に向けて必要なこと，やれること”を話し合いました！



【① 被服支廠の存在価値を共有,広めるために今からできることは？】

分類		誰が, 何をする
広報 ・ 発信	HP	✓ 被服支廠活用に向けて公式HPをつくる
	SNS	✓ 公式SNSやYouTubeチャンネルを使って広める ✓ 各自のSNSやツイッターで発信する
	TV	✓ TV局等に番組やロケ地として施設内外を放映してもらう
	出版・ 広報	✓ 民間や行政にパンフレットを作成してもらう ✓ 町内会が回覧板でアピールする ✓ 被服支廠の本を発刊してもらう ✓ 市報や公民館など, 地元の方々へ向けた情報を発信する
	学校 ・ 教育	✓ 学生・学校を通じて校外学習や掃除を実施する ✓ 学校の回覧を活用し, 各家庭に紙媒体で発信する ✓ 小学校の社会科見学として, 学校や教育委員会の負担を軽減しながら導入しやすくするために, スモールパッケージ化したツアーを企画する ✓ 小学生に価値を伝えるために, ミステリーツアーを大学生が企画する
見学会	✓ 定期的に関心のある人も参加できる現地見学会(勉強会)を開催する	
イベント	✓ 行政が主催・講演するイベント等で, 被服支廠を知ってもらうためのPRブースを出す ✓ 被服支廠でイベントやワークショップを開催する ✓ 図書館などの公共施設で被服支廠について展示する	
観光 ガイド	✓ 被服支廠を観光バスの周遊ルートに追加する(観光事業者に打診する) ✓ 県外の方なども観に来ることができるよう, オンラインバーチャルツアーを開催する	
設備を整える	✓ トイレなど最低限の設備を整えるためのリノベーションを行う	

自分ができること

- その存在を私のグループ内にSNS等で知らせる
- SNSに「#被服支廠」でつぶやく

- 被服支廠の絵を描く
- 広告やパンフレットなどのデザインを描く
- 町内会や社会福祉協議会に協力を仰ぐ

- 建築学生を巻き込んで被服支廠活用のコンテストを実施する
- 全国の新聞部仲間に呼びかける

- 被服支廠のボランティアガイドをする
- 外国の方をガイドする
- 東北震災被災地の方々となつながりがあるので, 広島に来られた際に案内する

- 東京蚤の市に何度も出店経験があり主催者ともつながっているので, 大規模の蚤の市を開催する
- 高校生へイベントを告知する
- 高校のPTAでの協力を仰ぐ

【② 被服支廠の活用を進めていく上で必要となる取組は？】

分類	主体(誰が)	何をする
人材・組織体制	行政・民間	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 語り部、観光ガイド等のボランティア人材を確保する</li> <li>✓ 専門家や知識を持った人など、プロとのつながりをつくる</li> <li>✓ 国、県、市、町、民間が連携する体制を構築する</li> </ul>
	民間	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 樽募金のように、大手民間のニーズを聞きながら、民間を巻き込んでいく</li> <li>✓ ガイドのグループをつくり、定期的に勉強会を行う</li> <li>✓ スポンサーをつける（社員の方に優待券などの特典をつける）</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ガイドや管理のNPO法人をつくる</li> </ul>
人・空間のネットワーク	行政・民間	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地元に着愛を持ってもらうために、近隣の学校とのネットワークをつくる</li> <li>✓ 市電の駅から直行のバスやびーすくる（広島市のシェアサイクルシステム）を導入する</li> <li>✓ 産業振興課を巻き込み、倉庫・冷凍庫であった特性を活用したテーマ性のある貯蔵庫として利用する（酒造×平和×鎮魂）</li> </ul>
	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 博物館をつくるために平和祈念資料館等、市との連携を進める</li> </ul>
教育・体験	行政・民間	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 子どもへのアプローチとして、教育における題材として取り上げる</li> </ul>
資金	行政・民間	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 建物を維持するための資金として、被服支廠で稼げるような機能を併設する</li> <li>✓ クラウドファンディングで集める</li> <li>✓ 被服支廠の家計簿づくりをする（将来の収益化まで話し合う場をつくり、ソフト・ハード等、異なる資金源ごとにチームを分けてみんなて集める）</li> </ul>
	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 条例を制定し、保存のための恒久的な財源を確保する</li> <li>✓ 今まで被爆者の福祉として使われていたお金を建物に充てていく</li> </ul>
設備	行政・民間	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 外からでも壁内の状況が見えるようにし、オープンな雰囲気にする</li> </ul>
	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 電気、水道、ガス、トイレ、洗面、駐車場などを整備する</li> </ul>
情報発信	行政・民間	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 特設サイトを設置し、活用を考えていることを広める</li> </ul>
その他	行政・民間	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 被服支廠の活用に向けた活動の頻度を決め、現実的にゆっくり開業する</li> <li>✓ 公的資金を使わず、来訪者が持ち寄った本で、自分事になる図書館をつくる</li> </ul>
	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 重要文化財の指定を進める</li> </ul>

自分ができること

- イベント等を実施するために人や団体を巻き込み協働し、ネットワークをつくる
- 木製家具を販売する企業とのつながりがあるので、協力を仰ぐ
- 広島青年会議所として、イベントの企画・実行に携わる

- 投稿を拡散する

ご意見をお聞かせください

---

ご意見をお聞かせください

- 会場後方に、付箋紙とペンを置いています。
- ご意見がある方は、記入の上、模造紙に張り付けてください。
  
- 下記のテーマごとに、ご意見をお願いします。
  - ①懇談会に関する意見
  - ②ワークショップに関する意見
  - ③今後の被服支廠の活用についての意見
  - ④その他